

コロナ対策、くらし、子育て、まちづくり 日本共産党



みなさんの願い実現に全力



高梨としひろ
磐田市議会議員

市民と力を合わせて

新型コロナウイルス感染拡大が広がる中で市民の命と暮らしをどう守るか、問われています。この間、議会で医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員への新型コロナ対策のPCR検査や、希望する市民のPCR検査を求めてきました。

政府の新型コロナ対策は、自治体任せで医療機関への支援も進んでいません。国の政治を変えることも、市民の暮らしを守ることに繋がります。市民と野党の共闘で、国の政治を変え住民の皆さんと力を合わせて、命・暮らし・福祉を守るためにがんばります。

プロフィール

- 1954年 磐田市中泉に生まれる。(66歳)
磐田市立第一中学校、磐田南高等学校
関西大学経済学部を卒業
- 現 在：磐田市議会議員(4期目)
総務委員会委員、広報広聴委員会委員
磐田生活と健康を守る会顧問
「浜岡原発はいらない磐田の会」世話人
- 住 所：〒438-0077 磐田市国府台(京見塚)648-1
TEL・FAX 0538-32-2319

① コロナ対策に支援の拡充

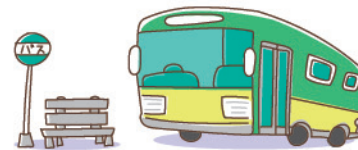
- ◎無症状者を含めたPCR検査の抜本的拡充
- ◎高齢者や基礎疾患をもった方のPCR検査自己負担1万円の軽減
- ◎中小企業や事業者に対して空調、トイレなどコロナ感染防止対策に市独自の助成を
- ◎食材や資材の納入業者にも補償を
- ◎小規模事業者、低所得世帯の支援
- ◎市立磐田総合病院をはじめとした地域医療機関と医療従事者の支援拡充

② 国保税、1世帯1万円の減税 —くらしの不安をなくす市政—

- ◎高齢者の補聴器購入助成金(3万円)の拡充
- ◎高齢化により免許返納が進むなか、市のコミュニティバスの運行や、デマンド型乗合タクシーの改善で買物や通院をより便利に
- ◎「健康寿命日本一・いわた」の計画策定



「バス問題」で街頭宣伝をする高梨としひろ議員



③ 学校給食の無料化

—子どもの教育と子育て環境の整備—

- ◎小中一体校は学校統廃合をめざすものであり、子どもや地域も困るので見直しを
- ◎コロナ禍の中で小規模校、少人数学級を活かした教育を
- ◎遊具のある自然運動公園、児童館の建設
- ◎学生が安心して学べる給付型の奨学金制度の創設を

④ 市民参加のまちづくり

- ◎市民文化会館の跡地は市民が集える施設に
- ◎桶ヶ谷沼・鶴ヶ池、大池、ひょうたん池などの自然保護と環境の保全
- ◎市民とのタウンミーティングの開催

⑤ 浜岡原発再稼働はストップ

- ◎浜岡原発の再稼働は反対。止めたまま廃炉にすることが一番の安全対策
- ◎再生可能な自然エネルギーの普及と活用を
- ◎地震・津波・火災等の防災対策と防災体制の強化

財源の有効活用を

市民要望実現などに自由に使える財政調整基金(貯金)が、令和2年9月現在で約72億円あります。私たちが苦労して納めた税金は、新型コロナ対策、検査の拡充をはじめ、市民の命・くらし・営業を守ることを優先して活用すべきです。



日本共産党

みなさんと力を合わせ 実現できました

●高齢者の補聴器購入に、市独自の助成制度を実現

市議会への請願署名など、多くの市民のみなさんの力が市政を動かし、市の助成制度が実現できました。市議会では党市議団が代表・一般質問などで、くり返し助成制度を求めてきました。

●中学卒業まで、子ども医療費完全無料化

市議会の一般質問などでとりあげ、また、新日本婦人の会のみなさんなどの請願署名が力となり実現しました。

○医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員へのPCR検査の実施

○75歳以上の人間ドックの助成

○高齢者の自動車急発進抑制装置への補助

○小中学校の普通教室へのエアコン設置

○就学援助の入学準備金を入学前支給に改善

○JR御厨駅にエスカレーターの設置

○骨髓等の提供者に対し助成金を交付

○若者相談窓口の設置

○核兵器廃絶平和都市宣言に基づく、平和事業の推進

○期日前投票所を、ショッピングセンター2カ所に開設



「市民アンケート」の返信（約700通）ありがとうございます

コロナ禍での暮らしについて

■ コロナ禍での出産で産院の検診や産後の見舞いなど制限があり、暮らしにくさと、不安が増した。また、小児科への通院や生活必需品の買い出しでも感染リスクが不安だった。（中泉地区：20代 女性）

■ 生活する上で4歳から69歳まで6人家族で同じ屋根の下で暮らすと、団らんの中にいつ「コロナ」をもらってくるか不安になり、会話しにくくなった。外出を最低限としている。（60代 女性）

市民文化会館跡地利用について

■ 市の中心地にあるため、磐田市のカルチャーの中心にしてほしい。文化芸術等の催事場にしてほしい。（東部地区：70代 男性）

■ 今まで文化振興センターで行っていた文化展ができる展示場、小ホール等ができることを希望します。（竜洋地区：80代 女性）

■ 市の中心部に市民文化会館がなくなり、小中学校などの音楽発表会の場がなくなり寂しい。跡地に500人規模のホールがあ

る施設をつくってほしい。
（中泉地区：60代 男性）

子育て支援について

■ 学校や園の先生の手当てを充実させ、人員を増やしてほしい。（中泉地区：30代 女性）

■ 共働きなので、夕方から夜と、土・日に見てくれる施設を求めます。（30代 女性）

公共交通政策について

■ デマンドタクシーは地域が限定されているので、病院に通うのも不便です。（竜洋地区：60代 女性）

■ 高齢者の移動手段の拡充をしてほしい。（中泉地区：60代 男性）

後期高齢者医療の窓口負担について

■ 年金収入が年々減っているのに、医療負担増になるのは大いに困る。ずっと元気で生活できる保障はないので。（70代 男性）

■ 病院に行く事が多くなったり、入院するような大きな病気になると大変だと思います。（福田地区：50代 女性）

浜岡原子力発電所の再稼働について

■ 10年前の福島の大変な悲劇を繰り返さないためにも廃炉。どんな対策をしても自然界の力には、人間は負けます。（東部地区：70代 男性）

■ 核のゴミの処理方法ができていないので稼働はむずかしい。代替エネルギーを至急つくり廃炉にしていこう。（竜洋地区：70代 男性）

国の政治、日本共産党について

■ 日本共産党は、行政のチェック勢力として必要だと思う。是々非々で判断してほしい。（中泉地区：60代 男性）

■ このところの政府のやっている事には大変怒っています。「桜を見る会」「モリカケ」「学術会議」・・・出せばきりが無い。今こそ共産党の出番です。地方議員、国会議員の活躍を期待します。（東部地区：70代 女性）

■ 自民党の不祥事が多発。桜を見る会、森加計、銀座の飲み歩き議員・・・国民を馬鹿にしている。がんばれ共産党。（福田地区：70代 男性）

市議会には、日本共産党の議員が必要です

オール野党で政権交代

文化・歴史が身近なまちに

市民文化会館がなくなり、市の中心部ではコンサートや演劇の鑑賞ができなくなっていました。文化会館跡地には、ぜひ中ホールと展示場（ギャラリー）を新設してほしい。

また、磐田市は豊かな歴史を持つところ、子どもたちが生きた歴史に接することができる市立博物館を建ててほしいと思います。

染葉 隆夫（中泉地区在住）



公共交通の充実を

昨年、「JR御厨駅ができ、御厨駅経由・磐田駅行きのバスが運行すれば便利になるね」と、みんなすごく期待していました。しかし、4月に磐田駅行の路線バスが廃止になることを知り、ウソだろうと思った。存続を求める市長あての署名3526筆を短期間で集め、市と交渉し要望したが、9月で廃止され、残念でたまりません。

市はデマンドタクシーの利用を、と言っていますが、使い勝手の改善が必要です。高齢者の多い町です。安心して暮らせるように市に強く要望します。



荒川 直三（東新町在住）

中小業者の支援を

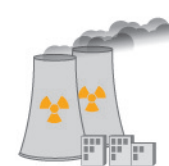
朝早くから働いています。消費税10%増税が負担です。いつまで商売をつづけていけるか、とても不安です。消費税を5%に引き下げを強く要望します。

「自助」を強調し、中小業者をつぶす、今の政治を変えるしかありません。日本共産党に期待します。

佐藤 義秋（塗装業）
（福田地区在住）

浜岡原発は廃炉に

予想される東海地震の震源域の真上にたっている浜岡原子力発電所は、「世界一危険」な原発です。これまでも、日本共産党議員は「浜岡廃炉」を議会で積極的に取り上げてくれました。引き続き活躍されることを心から期待しています。



大橋 定夫（千手堂在住）

平和を大切に

2021年1月22日、核兵器禁止条約が発効しました。核兵器は非人道的で違法であると断ずる国際ルールです。被爆者と私たち市民団体、そして日本共産党の議員さんが手を取り合って進めてきた運動で、やっと一歩前進しました。



千葉みつ子（見付地区在住）